

雨で流れた山へ再挑戦 箱根丸岳～芦ノ湖

実施日 2010年5月12日(水)

天候 霧・雨・雷・晴れ

リーダー 横山 玲子

参加者 上野キヨ、横山玲子、大浜幸子、
伊東勝昭、伊藤久雄、齊藤伸二
郎、岩森明克 計7名

費用 高速バス代往復 3,510円

タイム 乙女峠バス停(8:54～9:10)乙女
峠(9:50～10:05)丸岳(10:50～
10:58)長尾峠(11:45～12:20 昼
食)長尾峠登山口(12:50～1:00)
湖尻水門(13:45～13:55)桃源台
(14:15～14:30)

ほぼ満席のバスは小雨が降ったりやん
だりの東名高速道を順調に走ります。
ところが御殿場まで来たら頭上は青空で
した。でも乙女峠からの登りはガスの中、
登る程に濃くなります。



乙女峠は濃霧、
富士山どころでは
ありません。濡れ
たベンチで立った
ままの一休み。こ
こから丸岳を目指
しての稜線歩き、

道もなだらかになりルンルンコースのと
ころですが遂に雨となり雨具をつけて歩
きました。下の方から御殿場の自衛隊の
大砲の音がお腹に響きます。其の内雷の
音が、それも段々近づき頭上に、雷に弱い
人は悲鳴を上げそう、この雷雨の中を先に
進んだものやら、引き返した方がいいのか
迷いました。「どうしましょう?」と

皆さんに言いま
したら、Iさんが
「丸岳まで行って
みましょう」と言
われ全員がんばっ
て行こうとまた歩
き始めました。雷
鳴と大砲の二重奏
の中、丸岳にだどりつきました。



頂上の電波塔もガスの中、記念写真を



撮っただけで早
々に先に進みま
した。

下る程に雷鳴
も遠くなりやが
て下のゴルフ場
や芦ノ湖が見え

てきました。太陽まで照りだし雨傘が日
傘になる有様、稜線から離れガタガタと
下ると長尾峠、赤い屋根の茶店がありこ
この駐車場で昼食としました。
やがて目の前に大涌谷の噴煙、神山も見
えてきました。もう大丈夫だろうと雨具
をリュックに仕舞い真下のゴルフ場目指
して下り始めました。ところがまたパラ
パラと降りだしあわてて傘を出しました。

12時50分長尾峠
登山口に辿り着き一
息。ここからはサ
イクリングロード
歩きなのでもう雨
でも雷でもへっち
ゃらのんびり歩け
ると思ってたら段々晴れてきました。



湖尻の水門に着き振り返ると丸岳の電



波塔、峠の茶屋の
赤い屋根も見えて
きました。ここか
ら芦ノ湖湖畔のキ
ャンプ村を歩き観
光客で賑やかな桃
源台へ。ここから

新宿行き的高速バスが30分おきに発車
してます。予定より随分と早く着いた
ので14:30分発のバスに変更してもらい
早々バスに乗り込みました。平日で山は
こぶし会の貸切、そしてバスも貸切(途
中から乗りましたけど)車窓からは今歩
いてきた丸岳、長尾峠、緑の稜線の先
には金時山も。眺めているうちに富士山
の白い頂上が頭を見せ「がんばったね～ま
たおいで」と言ってくれてるみたい。

一日お天気に振り回された山行でした
が終わり良ければすべてよしといたしま
しょう。

参加された皆さんお疲れ様でした。
今度はまたこのバスで金時山の方へ行き
ましょうか?

(記&写真・横山 玲子)